

教師も子供も
「いつも・ちょっと・楽しく」
 端末を活用するヒントを掲載!!

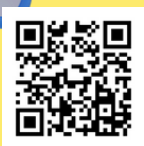


1. 中学校重点目標について

- ・全教職員で取り組む1人1台端末の活用
 ～「徳島ICT活用モデル」から指導・学びの変革をめざして～
- ・生成AIの使用による働き方改革
 情報モラル・情報セキュリティ教育の充実



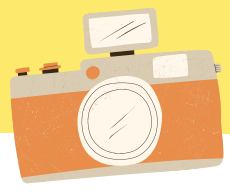
今年度は、「自ら問いを立て独自の疑問や課題を解決するためにICTを活用できる生徒」を目指しています。



詳細は、
 徳島県GIGAスクール構想ホームページ
 をご覧ください。
<https://gigaschool.tokushima-ec.ed.jp/>

DALL-E 3により作成

2. ICT活用の日常的・効果的な活用の3つのポイント



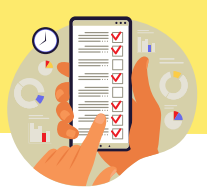
POINT 1

**「カメラ」機能を使う
 授業場面をつくる**

- ① **板書、体験活動などを
 子供や教師が撮影する**
 →クラウド活用で、いつでも誰もが振り返り可能に
- ② **制作過程の作品などを
 子供自身が撮影する**
 →気づきを言葉にし、自分の伸びや課題が分かるように



何度も録音し、家の人に選んでもらい提出しました。



POINT 2

**「アンケート」機能を使う
 授業場面をつくる**

- ① **場所や時間に縛られずに
 子供が情報収集する**
 →学級や学年を越え、遠くにいる相手にも調査が可能に
- ② **瞬時に学級全員の多様な
 考えを共有する**
 →振り返りが見える化し、学習成果の客観的な把握に



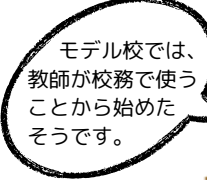
テストモードは、採点・集計も自動だからこそ、学力保障と業務改善の一挙両得につながられます。



POINT 3

**「共有」機能を使う
 授業場面をつくる**

- ① **一つのシートをグループ
 で共同編集する**
 →グループで分担し、協働による作品の制作が可能に
- ② **共有シートで意見を短時間
 で収集する**
 →途中経過を友達と見合い、学習の調整に



モデル校では、教師が校務で使うことから始めたそうです。

3. 徳島 ICT 活用モデル A・M 段階の好事例紹介

写真は生成 AI (DALL-E 3) 作成

インタビューを録音



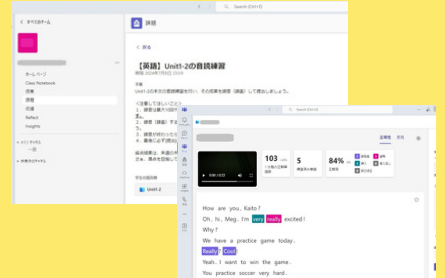
あるテーマに関するインタビューを ALT に行い、その動画を「まなびポケット」にアップロードする。生徒は各自の端末でその動画を視聴して、インタビューに関する設問に取り組む。聞き取りにくい部分は再生速度を遅くしたり、繰り返して再生したりできる。インタビューに答えた ALT が教室を回り、困っている生徒にヒントを与える。(吉野中学校)

相互評価の活用



情報を客観的に読み取り、論理的に考えて表現することをテーマに、ペアトークやホワイトボード・ミーティング®に取り組む。その後、Microsoft Teams で配信されたシートに条件作文を入力する。次に、シート内に組み込まれたレーダーチャートを用いて相互評価を行い、友達からの助言などを参考にし、加筆修正を行う。(富田中学校)

英語の音読課題



Microsoft Teams で英語の音読の課題に取り組む。原稿を Word で作成し配布する。生徒は原稿を見ながら録音し、納得のいくまで繰り返せる。録音したものを AI が採点し、教師は必要に応じて加点する。採点結果を基に生徒が見直し、改善点を復習する。さらに、苦手な単語が自動的に集計され、次回の指導に活かすことができる。(脇町中学校)

ICT の活用法について、改めて校内研修や職場の先生との情報交換の場で共有してみてください。また、活用の主体である子供たちの感想を聞き、使い方の工夫やアイデアを募り、一緒に授業をつくることも、子供たちが主体的に学ぶ方法の一つと考えられます。

4. 生成 AI の校務での活用の好事例

アンケート結果の分析、改善方法の提案

プロンプト例

～に関するアンケートの自由記述欄の回答について、否定的な意見として代表的なものを 5 つ抽出し、それぞれに対する対応策を考えてください。

#条件

- ・意見の内容を踏まえ、多いものから 5 つ選んでください。
- ・代表的な意見については、回答内容から引用してください。

#自由記述欄の回答内容

(自由記述欄に記載された内容を貼り付けする)

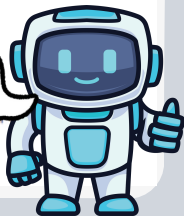
生成例

運動会に関するアンケートの自由記述欄から否定的な意見を抽出し、その対策を考えます。票数を参考にして、最も多かった意見から順に示します。

否定的な意見と対応策

- 「午前中の方が体力的にも負担が大きい。」
・対応策: 運動会のスケジュールのアクティビティや観客参加型のイベントを午前中に実施する。
- 「午後の日差しが強い中での活動は避けたい。」(票数: 4)

生成 AI は先生の仕事を助ける可能性を秘めた便利なツールです。



授業用のサンプル教材等の作成

プロンプト例

#役割

あなたは中学校 1 年生の理科教師です。

#目的

生徒に誤りを含む説明文を見せて、どこに誤りがあるか考えさせることを目的に、誤りを含む説明文を書いてください。

#条件

- 条件 1: 400 文字程度
- 条件 2: 地震について
- 条件 3: トピックは「マグニチュード」、「震度」、「震源」
- 条件 4: 各トピックについて説明文は 2 つずつ。
- 条件 5: 誤りは「震度」の説明箇所。
- 条件 6: それ以外は正しい記述

#出力形式

文章

生成例

了解しました。以下が、条件に基づく誤りを含む説明文です。

地震は、地下の岩盤が破壊されることで発生し、その強さを「マグニチュード」で表します。マグニチュードは、揺れの大きさを示し、数値が大きいほど強い地震です。また、地震が発生する場所を「震源」と呼びます。震源は、地震の中心点で、地表からの深さや位置によって影響が異なります。地震の揺れの強さを示す「震度」は、その地震

AI の進化がもたらす面白さや便利さを、ぜひ体験してください!



情報モラル年間指導計画のチェックを!

担当者が作っただけになっていませんか?

年間指導計画を校内で共有できていますか?

年間指導計画にチェックを入れ見直してみましよう!

情報モラルコンテンツ (GIGAワークブックとくしま)



ダウンロードはこちら

徳島県情報モラルサポートサイト

<https://j-moral.tokushima-ec.ed.jp/>

問い合わせ
教育 D X 推進課
☎: 088-621-3099